

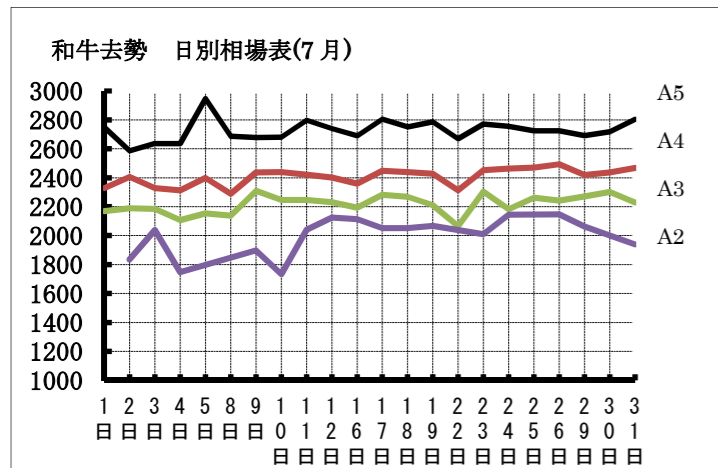
月刊しばうら

2019年 8月号

大動物事業部

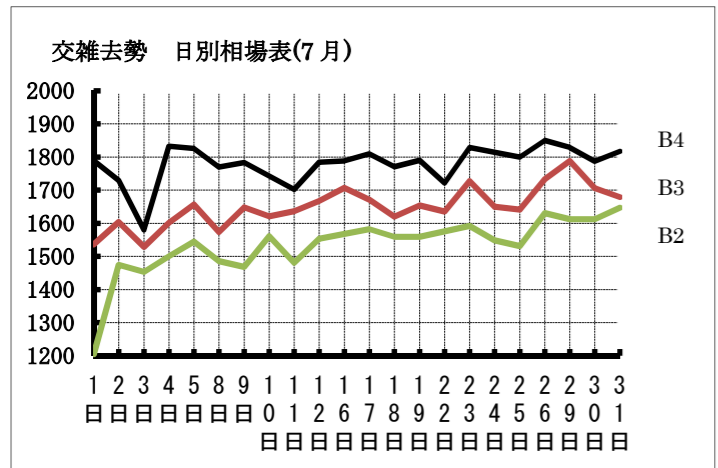
＜7月の相場動向＞

和牛去勢 A5 が前月比 17 円安の 2,753 円(前年同月比 81 円安)、A4 が同 16 円安の 2,415 円(同 6 円安)、A3 が同 15 円安の 2,220 円(同 54 円高)、A2 が同 4 円高の 1,966 円(同 18 円高)となり、交雑牛去勢は B4 が前月比 29 円高の 1,786 円(前年同月比 100 円高)、B3 が同 4 円高の 1,653 円(同 119 円高)、B2 が同 12 円安の 1,529 円(同 177 円高)、乳牛去勢は B2 で前月比 82 円安の 933 円(前年同月比 122 円安)となった。和牛は梅雨の影響による行楽需要の出遅れや末端需要の不振により全面的に前月より弱含みの展開となった。交雑牛は全国的に出荷頭数が減少傾向にあるなか、量販店や銘柄物のホテル需要の高まりなどにより依然として高値圏を維持している。



和牛去勢（月平均）

A5	2,753 円	(前年同月比 97.1%)	(前月比 99.4%)
A4	2,415 円	(" 99.8%)	(" 99.3%)
A3	2,220 円	(" 102.5%)	(" 99.3%)
A2	1,966 円	(" 100.9%)	(" 100.2%)



交雑去勢（月平均）

B4	1,786 円	(前年同月比 105.9%)	(前月比 101.7%)
B3	1,653 円	(" 107.8%)	(" 100.2%)
B2	1,529 円	(" 113.1%)	(" 99.2%)

乳牛去勢（月平均）

B3 なし

B2 933 円 (前年同月比 88.4%)(前月比 91.9%)

＜8月の牛肉輸入量予測＞

財務省が発表した輸入通関実績による 6 月の牛肉輸入量は前年比 0.1%減の 4 万 7,297 t とほぼ前年並みの輸入量だった。チルドは同 9.0%減の 2 万 1,348 t となり、前月から 1,800 t の減少。フローズンは前年第 1 四半期の関税緊急措置 (SG) の発動回避のため通関が 7 月に繰り延べられた反動で 8.7%増の 2 万 5,949 t となり前月からも 500 t 増加した。

農畜産業振興機構の予測による 8 月の牛肉輸入数量は、前年比 2.3%減の 5 万 6,400 t で、チルドは同 1.4%減の 2 万 5,900 t、フローズンは同 2.9%減の 3 万 500 t としている。7 月の輸入量は前年を大幅に下回るものの、現在の在庫量が水準であるため 8 月についても前年度ほど輸入量が増加しないと予測される。

輸入牛肉通関量		6月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	9,836	11,323	86.9%
	米国	9,834	10,946	89.8%
	その他	1,678	1,198	140.1%
	合計	21,348	23,467	91.0%
フローズン	豪州	12,331	13,480	91.5%
	米国	8,829	7,562	116.8%
	その他	4,789	2,828	169.3%
	合計	25,949	23,870	108.7%

単位：t

出典：食肉速報

＜8月の全国出荷頭数予測＞

家畜改良センターの発表による 6 月末現在の全国の飼養頭数は 386 万 6,160 頭 (前年同月比 0.3%増) と微増で、前月比では約 1 万 5,000 頭の増加となっている。黒毛和種は 167 万 349 頭 (同 1.6%増) で前月比では約 1 万 3,000 頭増となり、交雑種は 49 万 3,585 頭 (同 3.9%減) で前月を約 1,500 頭下回った。ホルスタイン種雄 (去勢) は前月比で 1,300 頭減少し、雌は約 4,000 頭増加している。また、牛飼養施設数は 5 万 8,639 カ所 (同 3.7%減) と、黒毛・交雑施設共に減少を続けている状況となっている。

農畜産業振興機構による 8 月の全国出荷頭数予測では、前年比 0.8%減の 8 万 2,700 頭で品種別にみると、和牛が同 6.1%増の 3 万 5,700 頭、交雑種は同 6.9%減の 1 万 8,300 頭、乳用種は同 5.0%減の 2 万 7,400 頭としている。引き続き和牛は増加となったものの、交雑種・乳用種は減少となっている。東京食肉市場の 8 月と畜頭数は 6,200 頭を予定しています。

＜8月の牛枝肉相場見通し＞

8 月は旧盆商戦のほか行楽需要など消費の盛り上がり期待したい時期ではあるが、梅雨明け以後の連日の猛暑による消費の減退や消費者の低価格・節約志向も依然として根強い。とりわけ盆明け以降は消費が一服する傾向にあるため、枝肉の仕上りの良し悪しにより同等級でも価格差が出るものと思われる。和牛については弱含みか、交雑牛については出荷頭数が減少傾向にあり堅調に推移するものと思われる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,700～2,800	B4	1,700～1,800
A4	2,350～2,450	B3	1,600～1,700
A3	2,150～2,250	B2	1,500～1,600
A2	1,900～2,000		
乳牛去勢			
B3	1,000～1,100		
B2	950～1,050		

小動物事業部

6 月の全国と畜頭数は、前年同月比 4.7%減の 121 万 3,983 頭と前年より減少した。また、6 月の豚肉通関数量は、7 万 6,309t (前年同月比 0.6%減) と微減となり、内訳はチルドが 3 万 2,006t (0.9%増) と微増したのに対し、フローズンは 4 万 4,303t (1.6%減) と減少した。フローズンでは中国の買い付け増加による、一部輸入国の現地相場の上昇が懸念されていたものの、わずかな減少にとどまった。

2018-2019年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
6	69,573	76,677	17,434	161,087	71,104	76,855
7	68,709	78,084	17,332	158,705	68,762	80,466
8	70,135	79,654	18,182	157,848	69,223	80,511
9	67,675	68,972	18,048	149,511	67,772	77,309
10	82,053	83,979	18,178	147,729	81,863	85,761
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
比	96%	99%	134%	114%	92%	101%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

6月豚肉通関実績						単位：t、%		
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比			
アメリカ	15,997	98.5	デンマーク	8,889	94.3			
カナダ	15,144	104.1	スペイン	10,297	93.1			
メキシコ	863	92.9	メキシコ	7,337	115.7			
			アメリカ	3,475	77.4			
			カナダ	3,438	104.9			
合計	32,006	100.9		44,303	98.2			

＜7月の豚取引の推移＞

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	61,300	531	499	726
2日	64,100	590	568	721
3日	39,200	576	558	639
4日	62,900	579	556	701
5日	60,700	589	574	885
8日	59,600	608	578	666
9日	63,200	661	633	688
平均	58,714/日			718/日

前月からの下落傾向が続いたまま 7 月に入ったが、2 日には 59 円上げの反発となり、その後も 500 円台後半で推移し 8 日には 600 円台となった。例年同様に 3 日は九州地方のと畜が 3 万頭台となったがその他は 6 万頭台前半で安定した。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10日	63,000	675	668	664
11日	65,800	657	633	648
12日	61,800	646	617	910
16日	74,300	648	626	685
17日	69,800	652	634	852
18日	67,900	587	531	881
19日	64,600	557	517	941
平均	66,742/日			797/日

引き続き枝肉相場は実需以上に高値で推移しているが末端消費は鈍く部分肉価格は全体的に下げ基調にあり荷動きは鈍化している。夏休みで学校給食が中断していることもあり、スソ物の荷動きは鈍っており、凍結回しとなるケースが増加している。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
22日	64,900	473	409	796
23日	65,600	504	460	941
24日	65,000	492	450	721
25日	65,800	438	422	741
26日	59,200	471	449	748
29日	62,400	454	432	689
30日	62,400	507	478	753
31日	57,300	500	491	649
平均	62,825/日			755/日

関東地方ではいまだ梅雨明けしておらず引き続き末端消費は鈍い状況が続いている。また天候不順による野菜価格高騰なども相場へ与える影響があり下落傾向が継続している。

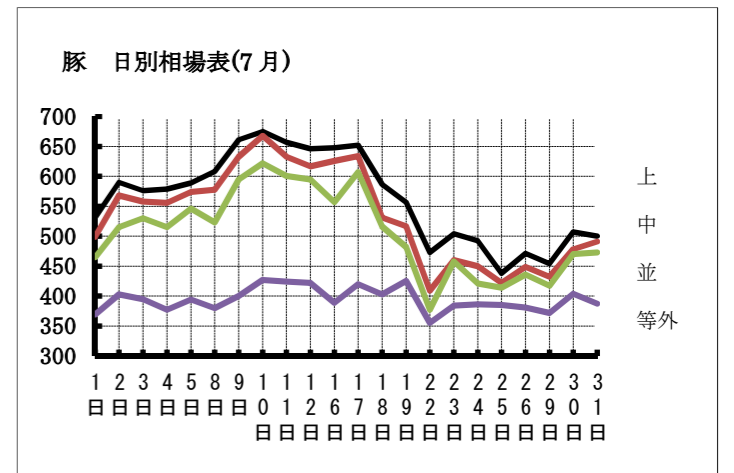
＜8月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による 8 月の全国と畜頭数予測では 126 万 8,000 頭 (前年比 101%) と予測している。当市場の 8 月集荷予定頭数は 1 万 5,500 頭、1 日あたりでは約 815 頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると 8 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 8,700t (同 98.8%)、内訳はチルドが 3 万 4,600t (同 93.7%)、フローズンは 4 万 4,100t (同 103.2%) と予測。

8 月は梅雨明けに伴い焼肉やバーベキューなどにより消費が上向くことや、量販店での販促の強まりも期待できる。しかし、盆休みにかけて都市人口が減少するため、都市部での需要はあまり伸びないことが予想される。供給面では、猛暑による生育悪化と 7 月の早出しの反動で出荷は伸びない可能性もあり出荷頭数によっては相場への影響もありそうだ。

以上のことから当市場の上物平均価格は 570 円前後、中物平均価格 550 円前後の展開と予測する。



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL http://www.tmmc.co.jp/